

いまさら聞けない！新型コロナワクチンのこと

新型コロナウイルスが、いまだ変異を続けながら猛威を奮い続ける中、感染拡大防止に向け日本では急ピッチで新型コロナワクチンの接種が進んでいます。

こうしたワクチン接種の積極的な動きもあり、メディアでは新型コロナワクチンについて多くの情報が流れており、混乱することがあるのではないのでしょうか。

そこで今回は新型コロナワクチンの基本的な情報をまとめてお伝えしたいと思います。

※厚生労働省の「新型コロナワクチン Q&A」サイト

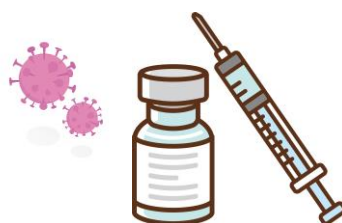
(<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/all/>)

と河野ワクチン接種推進担当大臣の科学的アドバイザーを務めるメンバーが運営する「こびナビ」サイト (https://covnavi.jp/category/faq_public/) からの情報を参考にまとめました。より詳しい情報が知りたいという方は、正規サイトよりご確認ください。

※2021年9月時点でのサイトの情報を参考にしています。

目次

1. そもそもワクチン接種ってなに？
2. 新型コロナワクチンの効果は？
3. 副反応ってどんなことが起きるの？
4. 新型コロナワクチンは安全なの？
5. 変異株には効くの？
6. まとめ



1 そもそもワクチン接種ってなに？

ワクチン接種とは、感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って、**病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために**、ワクチンを接種することをいいます。

感染症にかかると、原因となる病原体（ウイルスや細菌など）に対する「免疫」ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりします。

(参照：厚生労働省の「新型コロナワクチン Q&A」)

2. 新型コロナワクチンの効果は？

主に3つです！



① 感染そのものを防ぐ効果

ファイザー社および武田/モデルナ社のワクチンは、2回目のワクチン接種から14日以降では、無症状感染を含む**90%の感染を防ぐ効果**があるとされています。

また、ワクチン接種者がもしウイルスに感染してしまっても、同居者への感染を抑える効果があることが期待されます。(参照：「こびナビ」ワクチン Q&A)

② 発症を防ぐ効果

ファイザー社のワクチンでは**約95%**、武田/モデルナ社のワクチンでは**約94%**の発症予防効果が確認されています。また、アストラゼネカ社のワクチンは**約70%**の発症予防効果が確認されています。

(参照：厚生労働省の「新型コロナワクチン Q&A」)

インフルエンザのワクチンは 40～60%程度と言われているので、新型コロナワクチンは高い有効性があります。



③ 重症化（集中治療室での治療、人工呼吸器の使用等）を防ぐ効果

ファイザー社のワクチンは重症化する人も **92%減る**という高い有効性が報告されています。武田/モデルナ社の mRNA ワクチンに関しても、大規模な臨床試験において、ワクチンを受けたグループで重症となった人は **1人もおらず**、ワクチンによって重症化することも防げたことが示されています。（参照：「こびナビ」ワクチン Q&A）

3. 副反応ってどんなことが起きるの？

発現割合	症状	
	コミナティ(ファイザー社)	モデルナ(武田薬品)
50%以上	接種部位の痛み、 疲労、頭痛	接種部位の痛み、 疲労、頭痛、筋肉痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、 下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、 リンパ節症、発熱、 接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1～10%	吐き気、嘔吐	接種後7日以降の 接種部位の痛みなど(※)

コミナティ添付文書、COVID-19 ワクチンモデルナ添付文書より

(※) 接種部位の痛みや腫れ、紅斑

(参照：厚生労働省の「新型コロナワクチン Q&A」)

打つか打たないかは自由だと思いますが、私は新型コロナワクチンを打つことのメリットが大きいと考え、打つことにしました。1つの事例として、私の新型コロナワクチンの副反応をご紹介します。

私は8月中旬に、2回目のワクチン接種を終えました。(市の集団接種にて、モデルナ社のワクチンを打ちました。)

ドキドキしながら、待ち構えていた副反応は下の図のとおりです。

接種日	症状の経過
1回目 (7月中旬)	<p>接種日：接種部位の軽い痛み。触れるとちょっと痛いかな、という程度で腕が上がりました。熱も身体の怠さもありませんでした。</p> <p>2日目：接種部位の痛みもなくなり、普段通りに過ごしていました。</p>
2回目 (8月中旬)	<p>< 1回目より副反応が少し強く出ました。 ></p> <p>接種日：午前11時に接種し、その日の夜中3時に38.6℃の熱ができました。接種部位に筋肉痛のような痛みがあり、腕をあげるのがつらかったです。</p> <p>2日目：朝方も熱が38℃台だったため市販の解熱剤であるタイレノールを飲み、午前中は安静にしていました。午後には36℃台にもどり、体の怠さもだいぶとれました。</p> <p>3,4日目：熱は出ませんでした。頭と体がボーッと熱くなる感じと、頭痛や怠さが時々現れましたが、仕事や生活に支障はありませんでした。</p> <p>5日目：普段通りに過ごしていました。</p>



2回目は副反応が起きやすいため、事前に体調不良時でも喉を通りやすい、ゼリーやアイス、ポカリスエットなどを買いだめしておき、数日は家の中で過ごせるよう準備していました。

私の場合は軽い症状ですみましたが、重くてた方も周りにはいたので、副反応は個人差がおおきいように思います。重くでることも想定し、解熱鎮痛剤や食料品の準備をしておくといいのではないのでしょうか。

4. 新型コロナワクチンは安全なの？

数万人規模の臨床試験と実地の投与後の検討から、mRNA ワクチンは**安全性の高いワクチンであることが分かっています**。米国の臨床試験でも、「**3. 副反応ってどんなことが起きるの？**」でご紹介した副反応などが確認されており、これは**免疫反応がしっかりと起こっている**ことを示す症状です。(ただし、副反応がなかったからといって免疫がつかないわけではありません)

これらの副反応以外には、稀ですがアナフィラキシー、遅発性の皮膚の炎症/コピッドアーム、心筋炎や心膜炎が確認されています。

また、mRNA ワクチンでは、スパイクタンパク質というウイルスの一部分しか作られないので、**ワクチンの成分によって新型コロナウイルスに感染することはありません**。

アナフィラキシーの頻度は、ファイザー社ワクチンは100万回投与につき4.7回、モデルナ社ワクチンは100万回投与につき2.5回と報告されています。これはインフルエンザのワクチンでのアナフィラキシーの頻度(100万人に1.4人)よりやや多いと言えますが、他の薬に比べて特別多いというわけではありません。例えば、抗菌薬(抗生剤)では、約100万人に200人アナフィラキシーが起きる事があります。



(参照：「こびナビ」ワクチン Q&A)

5. 変異株（デルタ）には効くの？

変異ウイルスデルタは従来のウイルスに比べて重症化するリスクや入院するリスクが高いことが報告されています。

デルタに対する新型コロナワクチンの効果については、現在調べられている段階ですが、複数の研究で発症予防効果が若干減弱していることが分かってきています。

しかし新型コロナワクチン接種による発症予防効果が減弱していたとしても、依然として高い重症感染予防効果が確認されており、新型コロナワクチン接種はデルタに対して引き続き有効であると考えられています。（参照：「こびナビ」ワクチンQ&A）

英国のレポートではファイザー社ワクチンの2回接種後の発症予防効果は、アルファに対しては93.7%であったのに対し、デルタに対しては88.0%であったと報告されています。



6. まとめ

今回、新型コロナワクチンについて情報をまとめましたが、現在も調査中のことやわかっていないことも多いため、不安に思う部分も多くあると思います。今ある正しい情報をもとに、新型コロナワクチンを接種するか否かを選択していただければいいのではないかと思います。

また、新型コロナワクチンを接種することで、発症を予防する効果、感染を予防する効果、重症化を予防する効果は得られますが、その効果は100%ではなく、どのくらい持続するかも不明確な段階であるため、接種後も引き続き感染予防対策を継続する必要があると思います。

以前の生活に戻るのには難しいかもしれませんが、少しずつ感染症からの脅威やストレスが緩和されることを願っています。